

第14期 中間事業報告書

平成27年1月1日から
平成27年6月30日まで



トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場全景

TOABO

株式会社 トーア紡コーポレーション

100周年に向かうトーア紡グループ。

「アメニティ＝快適」という価値を未来に、暮らしに届けるため
商品・研究開発を5つの事業分野で展開し、TOABOブランドのさらなる飛躍を目指します。

第14期の業績について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第14期第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）の事業概要を次のとおりご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や日銀の金融緩和策を背景に、企業収益や雇用情勢に改善が見られる等、全体的には緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、円安による原材料等の価格上昇や不安定な海外情勢等、先行き不透明な状態が続いております。

こうした状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,423百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は272百万円（前年同期比35.2%減）、経常利益は193百万円（前年同期比36.3%減）、四半期純利益は377百万円（前年同期比74.7%増）となりました。

今後の方針

当社グループでは、5つの事業を中心として、グループ全体のさらなる事業価値の向上を最大の経営課題と位置付け、中期的な経営戦略に基づいて、各事業分野において、以下の取り組みを進めてまいります。

●衣料事業

毛糸部門はウール中心の商品構成を見直し、春夏素材販売を強化します。ユニフォーム部門とテキスタイル部門は重要顧客との取り組みを深め、市場でのシェア拡大に努めます。

●インテリア産業資材事業

自動車内装材部門は、生産の効率化と物流の最適化を目指します。また、カーペット部門および不織布部門では、新規商材の開発、新規分野の開拓に努めます。

●半導体事業

中国生産品の円安による原価高騰に対し、販売・生産の両面で、収益改善ができるよう対処してまいります。

●ファインケミカル事業

ヘルスケア分野での事業拡大を図るとともに、今後成長が見込まれる新興国市場での機能性材料の拡販を目指します。

●不動産事業

商業施設は投資により資産価値を高め、事務所賃貸については稼働率の向上に努めます。

これらの取り組みとともに、「企業の果たす社会的責任」の一環として、「人」・「暮らし」・「環境」の心地よい調和を求めてまいります。

また、法令遵守や危機管理を一層徹底するため、「トーア紡グループ企業行動憲章」のさらなる定着と実践を推進し、より実効性のある内部統制の整備、運用に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月



代表取締役社長

長井 渡

営業の概況

〈トーア紡グループ〉の
事業展開

TOABO

株式会社トーア紡コーポレーション

衣料事業

東亜紡織株式会社
株式会社トーアパレル
トーアニット株式会社
無錫東亜紡織有限公司
ほか

ファインケミカル事業

株式会社トーア紡コーポレーション
大阪新薬株式会社

インテリア産業資材事業

トーア紡マテリアル株式会社
広州東富井特種紡織品有限公司

不動産事業

株式会社トーア紡コーポレーション
ほか

半導体事業

株式会社トーア紡コーポレーション
ほか

その他

株式会社トーア自動車学校
颯進（上海）貿易有限公司
ほか

衣料事業

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造および販売を行っております。

毛糸部門では、品質、価格、サービス面で顧客の国内メーカー回帰の流れから増収となりました。

ユニフォーム部門では、学校向け制服素材は、定番商品の受注が伸び増収となりましたが、原材料高により減益となりました。企業向け制服素材は、特注案件が伸びず、また昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動もあり、減収となりました。官公庁向けは、官公庁の経費削減による調達量減少により、減収となりました。

テキスタイル部門では、郊外専門店向けメンズ、レディース素材が伸びたことや、ベトナムでの増産も寄与し、増収となりました。

この結果、衣料事業は、売上高4,135百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益58百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

インテリア産業資材事業

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア製品の製造および販売を行っております。

ポリプロファイバー部門は、全体的には堅調に推移しましたが、前期と比較し、住宅建材用途や自動車向けが低調であったため減収となりました。

カーペット部門は、カーマット用途、住宅用途、遊興施設用途、展示会用途など概ね順調に推移しました。

不織布部門は、寝装用途・土木・緑化・防草資材等の公共事業関連などを中心に概ね順調に推移しました。

特殊繊維部門は、金属繊維およびカーボン繊維製品とも受注も安定し、順調に推移しました。

自動車内装材部門は、新規車種の立ち上がりがありました。が、全般的に低調な国内自動車販売の影響で減収となりました。

自動車内装材製造販売の中国子会社は、昨年からのディーラー在庫過多による自動車メーカーの生産調整の影響を受け、大幅な減収となりました。

この結果、インテリア産業資材事業は、売上高3,113百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益51百万円（前年同期比70.2%減）となりました。

半導体事業

半導体事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っており、新規案件の立ち上がりもあって、受注・売上とも堅調に推移し、売上高1,005百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益15百万円（前年同期比155.1%増）となりました。

ファインケミカル事業

ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、工業用薬品の製造および販売を行っており、欧州向けの機能性材料や国内の電子材料用途が堅調に推移し増収となりましたが、原材料費上昇により利益率が低下した結果、売上高440百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益34百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

不動産事業

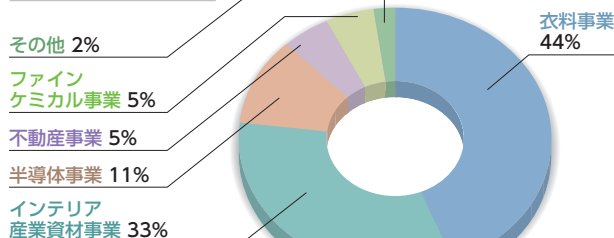
不動産事業は、事務所賃貸や複合商業施設などの不動産開発・管理を行っており、概ね堅調に推移しましたが、当社の主力である郊外での賃貸市場の低迷により、売上高495百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益277百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

その他

その他は、自動車学校の運営、新規事業および中国における貿易業務などを行っております。

自動車教習事業は好調に推移しましたが、新規事業の毛染めの販売が下期にずれため、売上高232百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益8百万円（前年同期比90.6%増）となりました。

事業別売上高構成比



連結財務諸表

▶ 四半期連結貸借対照表

資産の部

(百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末 平成26年12月31日現在
流動資産	10,187	8,723
固定資産	24,559	24,400
資産合計	34,747	33,124

負債の部

(百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末 平成26年12月31日現在
流動負債	9,521	8,130
固定負債	13,473	13,650
負債合計	22,995	21,781

純資産の部

(百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末 平成26年12月31日現在
株主資本	9,944	9,745
その他の包括利益 累計額	1,799	1,589
少数株主持分	7	7
純資産合計	11,752	11,342
負債及び純資産合計	34,747	33,124

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 四半期連結損益計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで
売上高	9,423	9,732
売上総利益	1,643	1,747
営業利益	272	421
経常利益	193	304
税金等調整前 四半期純利益	182	326
四半期純利益	377	216

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで
現金及び現金同等物の 期首残高	1,406	1,256
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,520	△ 1,368
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 119	13
財務活動による キャッシュ・フロー	1,496	1,494
現金及び現金同等物に 係る換算差額	11	△ 19
現金及び現金同等物の 増減額 (△減少)	△ 131	119
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,274	1,376

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成27年7月1日現在)

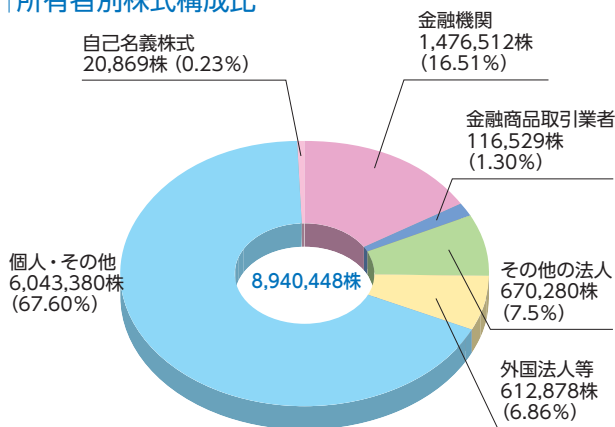
平成27年7月1日をもって、10株を1株の割合で株式併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更致しました。

発行可能株式総数 14,300,000株

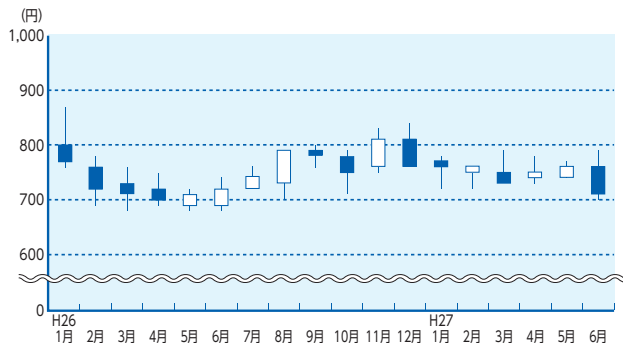
発行済株式の総数 8,940,448株

株主数 7,848名

所有者別株式構成比



株価推移



会社概要 (平成27年6月30日現在)

設立年月日 ▶ 平成15年6月12日 (創業 大正11年2月)

資本金 ▶ 3,940,097,500円

主要な事業内容 ▶ 半導体、ファインケミカルの製造販売および不動産賃貸、各種繊維製品の製造加工販売を行う子会社の経営管理

事業所 ▶ 本 社 大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー 18階
東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町14番7号
アクサ小伝馬町ビル4階
大阪工場 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号

従業員数 ▶ 59名

ホームページ ▶ URL <http://www.toabo.co.jp/>

役員 (平成27年6月30日現在)

代表取締役社長	長井	渡
取締役	水森	吉紀
取締役	牛丸	修
取締役	山田	哲
社外取締役	坂下	清信
常勤監査役	興津	裕文
社外監査役	高島	志郎
社外監査役	伊藤	豊久

ホームページのご案内

株式会社トーア紡コーポレーションのホームページでは、会社情報、事業概要、投資家情報、環境保全活動など、最新の情報を発信しています。

<http://www.toabo.co.jp/>



主な子会社 (平成27年6月30日現在)

■ 東亜紡織株式会社

設立年月日 昭和48年5月28日 (商号変更 平成15年10月1日)

資本金 1億円

主要な事業内容 梳毛織糸、梳毛ニット糸、合織糸、毛織物、ジャージの製造販売等

事業所 本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー 18階
東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町14番7号
アクサ小伝馬町ビル4階
一宮事務所 愛知県一宮市籠屋五丁目8番1号
宮崎工場 宮崎県都城市高城町大井手2050番地1

従業員数 96名

■ トーア紡マテリアル株式会社

設立年月日 平成12年12月8日 (商号変更 平成15年10月1日)

資本金 1億円

主要な事業内容 タフトカーペット、ニードルパンチ、ロックタフト、ポリプロファイバー、タイルカーペットの製造販売等

事業所 本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー 18階
四日市工場 三重県四日市市楠町南川150番地

従業員数 126名

関連会社

社名	事業内容
(株) トーアアパレル	学生服、企業ユニフォームの製造販売等
大阪新薬(株)	ファインケミカルの製造販売等
(株) トーア自動車学校	自動車教習事業
トーアニット(株)	ニット製品の製造販売
広州東富井特種紡織品有限公司	産業資材用製品の生産加工販売
無錫東亜紡織有限公司	梳毛糸の製造販売等
颯進(上海)貿易有限公司	半導体、繊維製品の輸出入業務等

株式のご案内

事業年度 1月1日～12月31日

基準日 12月31日

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 電子公告
公告掲載URL <http://www.toabo.co.jp/>
(電子公告による公告ができない場合、
日本経済新聞に掲載いたします。)

単元株式数 100株
(平成27年7月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。)

証券コード 3204

- 手続におけるご注意
1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
 2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

TOABO

株式会社 トーア紡コーポレーション

〒540-6018

大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー 18階

TEL 06-7178-1151

URL <http://www.toabo.co.jp/>



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく
読みま ちがえにくいデザインの文字を
採用しています。